



3億年前の珊瑚礁の石灰岩を地元の人々と一緒に観察。(ダンバー)[左] キルダルトン・クロス、9世紀につくられたケルト十字(アイル島)[中] スコットランド国立博物館(エディンバラ)[右]



海外研修報告 [スコットランド]

スコットランド地質見学

担当教員 知識工学部 自然科学科 萩谷 宏 准教授

研修期間 2012年8月20日～30日

研修場所 スコットランド[グラスゴー、アラン島、アイル島、エディンバラ、ファイフ、ダンバー など]

✈ 研修目的

スコットランドは「地質学の父」と呼ばれるジェームズ・ハットンが、18世紀末に、聖書にとらわれない地球の歴史を地質調査から初めて打ち立てた場所として知られています。齊一説と呼ばれるその地球観が、19世紀のダーウィンの進化論につながりました。また、スコットランドには日本と共通する化石を産出する古生代の珊瑚礁の石灰岩や、産業革命を支えた石炭層、建材に使われる砂漠成砂岩、大陸衝突の変成岩や大陸分裂の火山岩が見られます。この実習では、スコットランドの雄大な氷河地形を前にして、地質学の歴史を学び、また数十億年にわたる大陸移動と地球の変動を学びます。

✈ 研修内容

月日	都市名	行程
8/20	東京・羽田～スコットランド・グラスゴー	日本からスコットランド・グラスゴーへ移動
8/21	アイル島	●アイル島南部の地質・氷河地形など見学
8/22	アイル島	●アイル島中央部～東部の地質・ストロマトライトなどの調査
8/23	アイル島	●アイル島西部の片麻岩調査。フェリー移動、高地の地形観察
8/24	グラスゴー	●グラスゴー大学、Kelvin Grove Art Gallery and Museumなど見学
8/25	アラン島	●アラン島地質調査 ●Heritage Museumなど見学
8/26	エディンバラ	●エディンバラ市内、スコットランド国立博物館など見学
8/27	エディンバラ/ファイフ	●Miller氏の案内によりエディンバラ地域地質見学 ●ファイフ調査
8/28	エディンバラ/ダンバー	●王立植物園見学 ●Geowalk参加:ダンバー地域地質見学
8/29～30	スコットランド・グラスゴー～東京・成田	スコットランド・グラスゴーからロンドン・ヒースロー空港経由で日本へ移動

✈ 教員からのコメント

スコットランド実習は2011年に続き2回目ですが、今回もエディンバラ大学生涯学習講座講師で火山学者のAngus Millerさんに、エディンバラ市内のArthur's Seatとダンバーでの地質の現地解説をお願いしました。またアラン島在住の池田亮子さんには、アラン島の気候や生活について現地でご話していただきました。博物館見学では、スコットランドの科学の歴史と伝統とともに、科学が身近な存在として多くの人々に親しまれている様子を感じ、学芸員を目指す学生には特に刺激になったようです。エディンバラ城の建つ高地が硬い火山岩でできていて、氷河の削り残した地形であることや、砂漠成砂岩でできた世界遺産の石造りの街並みなど、人の歴史と地球の歴史とが密接に関わっていることを学びました。



ロッホランザ城内部。13世紀の石造建築物。(アラン島)



ハットンの不整合露頭の前にて。(アラン島)



Angus Miller博士による地質と地形の解説。(エディンバラ)